

第22号

令和3年3月発行

シルバー 人材センター

だより



刈払機安全取扱講習会



植木剪定作業



草刈り作業 (八溝グリーンライン)

発行 那須烏山市シルバー人材センター
編集 シルバー人材センター広報委員会

住所 〒321-0521 那須烏山市岩子6番地1
TEL 88-7731 FAX 88-7798
ホームページアドレス <https://webc.sjc.ne.jp/nasukara-sc/>

ご挨拶

理事長 澤村俊夫

ご利用、ご支援に感謝



各ご家庭、企業、団体、行政機関等におかれましては、日頃より当センターをご利用くださると共に多大なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

日本人の平均寿命が延びて人生100年といわれるようになり、那須烏山市の高齢人口も今や三人に一人となっております。高齢者であっても働くことを通じて、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すことができます。また、家庭や地域社会に活力を生み出し、地域社会の活性化にもつながります。

当センターでは現在158名（男113名、女45名）の会員が、植木の手入れや除草作業、障子等の張替え、室内清掃、派遣業務（工場での軽作業やスクールバス運転など）の仕事に従事しています。また、門松づくりや女性グループによる小物づくりも行っており、特色ある事業として好評を得ております。高齢者でも働く意欲のある方、私たちと一緒に仕事をしませんか。当センターでもまだまだ女性会員が少ないので女性の方も大歓迎です。

最後に、会員の皆様には新型コロナウイルス対策をしっかりとしながら健康に留意されて活動され

ますようお願いし、また市民の皆様には当センターを気軽にご利用いただけるようご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。

令和2年度定時総会

令和2年6月19日（金）に令和2年度の定時総会が南那須公民館において開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図り、会員の健康を守るため、会場への来訪を極力避けていただき、書面による議決権行使とし、規模を可能な限り縮小して開催しました。当日の会員数は149名、うち出席者・議決権行使書提出者は144名で、澤村俊夫理事長が開会のあいさつを行いました。

議事に先立ち、七合（滝田・中山・谷浅見）地区の大貫勝夫氏が議長に選出され、令和元年度事業報告・収支決算についてと、令和2年度事業計画・収支予算について審議され、原案通り可決承認されました。



安全パトロール実施

「安全はすべてに優先する」。重篤事故や傷害事故の撲滅を図るため、シルバー人材センターの役員が安全就業パトロールを実施しました。草刈り・植木剪定作業等の際には安全保護具（ヘルメット等）の着用をお願いします。また、夏場の熱中症対策には万全の対策を講じましょう。



刈払機安全取扱技能講習会開催

シルバー人材センターに入会して就業するために必要な技能を習得するため、県シルバー人材センター連合会主催による刈払機安全取扱技能講習会が12月8日（火）に南那須公民館で開催されました。コベールコ教習所の講師の下、14名が受講しました。



新型コロナウイルス感染防止

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、日頃から次の取組みを徹底しましょう。
 ①3密（密閉、密集、密接）の回避 ②手洗い・消毒の励行 ③マスクの着用



新総合事業

市の委託を受け実施している「いきいきホームヘルプ事業」では、高齢者宅の生活支援として、清掃や買い物支援等を行っています。



「サークルぽけっと」

女性会員で構成する手芸グループ「サークルぽけっと」。女性会員9名が月2回、女性独自の視点を活かし、手芸小物製作や洋服のり

フォーム、販売等を行うなど積極的に活動しています。女性の入会促進と女性の活躍できるセンターづくりに期待が膨らみます。



エプロンドレス・ちよこっと帽子



県シルバー人材「女性の会」設立

県内のシルバー人材センターの女性役員ら13人が2月17日（水）、「女性の会」を立ち上げました。女性会員同士の意見交換などを通じて活動を活性化させるとともに、女性会員の拡大を図ることが目的です。当センターからは2名の役員が参画することとなりました。



門松づくり

平成3年から始まったシルバー人材センターの門松づくり、今年も会員6人により例年より

多い133基が作られました。今年はインターネットで市外や県外からの注文も増えました。大きさは50cmの小さいものから1.5mの大きいものまでの3種類で、松や竹、ワラを使用し、約一か月をかけて完成させます。一つ一つ丁寧に仕上げた作りが評判となっています。この門松は市役所などの公共施設にも寄贈し、訪れる市民の皆様にも喜ばれています。



要望活動を実施

11月20日（金）、シルバー事業の円滑な推進のため、必要な予算の確保と公共事業の発注の確保とともに、人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望書を澤村理事長が川俣市長及び久保居議長あてに提出しました。



会員募集中

シルバー人材センターでは、市在住で60歳以上の元気で働く意欲のある方を募集しています。

☎0287-88-7731

「シルバーで活かそうあなたの知識と経験」

お仕事を頼むには

まずはシルバー人材センターにご連絡ください。

☎0287-88-7731

おもな作業内容

【請負業務】

- 植木手入れ ○草刈 ○除草 ○障子・襖・網戸の張替 ○屋根塗装 ○大工仕事
- 農作業の手伝い ○除草剤・殺虫剤散布
- 屋内・屋外清掃 ○食事・洗濯等の家事手伝い ○刃物研ぎ ○宛名・賞状書き
- 空き家・空き地管理事業

【派遣業務】

- 運転業務 ○事業所・工場等の業務
 - 保育業務 ○一般事務
- ※この他にも頼みたい作業・業務がございましたら、ご相談ください。

【注意】

※時期によっては混雑していて、すぐに作業に入れない場合があります。
※高齢者に適さない作業の場合、お引き受けできないことがあります。

安全就業の心得

事故から身を守るには、会員の皆さん、一人ひとりが安全は自分の問題として取り組む、「安全自己管理」という意識を持つことが大切です。

- ①急がずあわてず、安全第一を心がける。
- ②道具や器具類の点検を行う。
- ③作業に適した服装・履物・保護具を着用する。
- ④仕事前には準備運動をする。
- ⑤体力等の低下を十分に自覚し、無理をしない。
- ⑥就業現場は、常に整理整頓を心がける。
- ⑦共同作業では、合図・連絡を正確に行う。
- ⑧行きも帰りも仕事のうち、交通事故に気を付ける。
- ⑨健康管理に努め、常に健康な状態で就業する。
- ⑩仕事の前日は十分に睡眠をとる。



《私の趣味》

竹ぼうきと熊手づくり

竹ぼうきと熊手を作り始めて約15年、年間20本程度、一本一本心を込めて作成しています。竹ぼうきには、自宅の孟宗竹の枝を使用します。夏の竹はすぐに虫に食われるので、寒中に切り出した竹の枝を葉が落ちるまで外で干し使用します。先端が抜けないようクギや締め方を工夫し結束することが重要なポイントです。一方、熊手は曲げ方が難しく、ストーブや塩酸などを使って丁寧に作業を行います。こうすることで、より一層使いやすモノができます。丈夫で長持ち、使う人に喜んでもらえることが何よりも楽しみです。



シルバー会員 佐藤 秀男（藤田）

編集後記

やわらかな春光に、心躍る季節となりました。新型コロナウイルスの一日も早い収束を願うばかりです。さて、私事で恐縮ですが、昨年12月に初孫が生まれました。元気な男の子です。2か月の里帰りの間、ミルクをあげたりお風呂に入れたり、プチ「イクメン」を経験させてもらいました。授乳など数十年ぶり、最初は恐る恐るでしたがそこは昔取った杵柄、慣れてくると家族から「ゲッブ出し名人」とおだてられ得意になっておりました。その間感心させられたのは、娘の顔がすっかりお母さんの顔に変わっていたこと。ちゃんと子育てができるか心配でしたが、取り越し苦労でした。孫が帰宅後は、心にポッカリ穴が開いた気分でしたが、今は孫に会いに行くことを楽しみに過ごしています。その時に車で聞く曲はもちろんだ泉逸郎さんの「孫」。心に染みます。

（広報委員・水上）

